

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 境港総合技術高等学校

重点項目	専門人材育成	提出日	令和3年2月9日
------	--------	-----	----------

1 学校目標	
(1) 個々の持つ個性、適性、可能性を最大限に開花させる。 (2) 自主・自律の精神と、他者への思いやりを持った心の育成と創造性豊かな人格を形成する。 (3) 地域の特性を生かして成長し、確かな知識と技術を身につけ未来を切り開く人材を育成する。	
2 重点項目に係る目標	
○専門的知識や技能を身につけ、イノベーションに柔軟に対応でき、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。	
海洋科	・船舶や漁業の魅力を実習や体験をとおして理解させ、船舶・水産関係の就職者数を増加させる。
食品・ビジネス科	・地元の基幹産業である水産業を支える人材を数多く育成し、地元就職者を増加させる。
機械科	・多くの機械実習を通して、ものづくりのすぐれた技術を習得させ、機械・自動車関連企業への就職者を増加させる。
電気電子科	・国家資格である電気工事士の資格取得者を増加させ、資格を活かした電気電子関連企業への就職者を増加させる。
福祉科	・即戦力となる介護福祉士となるため、国家試験の合格を目指すとともに、福祉関連産業への就職者を増加させる。 ・地域のこども福祉を支える人材を育成し、豊かな心を持ち地域貢献できる人材を育成する。
<数値目標>	
【全体】	
(1) 各学科の専門に関連した企業に就職する割合80%以上(令和2年度86.2%、令和元年度70.6%、平成30年度76.6%)	
(2) 各学科の専門に関連した上級学校に進学する割合70%以上(令和2年度70.5%、令和元年度70.6%、平成30年度53.2%)	
(3) 各学科の専門の資格を二つ以上取得する割合85%以上(令和2年度92.0%、令和元年度84.6%、平成30年度81.8%)	
【各科】	
海洋科	・船舶・漁業関係に80%以上就職する。(令和2年度93.8%、令和元年度70.0%、平成30年度30.0%)
食品・ビジネス科	・就職希望者の80%以上が食品・ビジネス科で学んだことを活かし、

(様式1)

	食品及びビジネス関係へ就職する。(令和2年度92.3%、令和元年度71.0%、平成30年度87.0%)
機械科	・自動車整備士試験3級に90%以上合格(自動車類型)(令和2年度100%、令和元年度85.0%、平成30年度95.0%) ・機械・自動車関連企業に90%以上就職する。(令和2年度100%、令和元年度94.0%、平成30年度91.7%)
電気電子科	・電気工事の国家試験に70%以上合格(令和2年度67.9%、令和元年度74.5%、平成30年度58.6%)させ、電気電子関連企業に85%以上就職する。(令和2年度87.0%、令和元年度75.9%、平成30年度81.8%)
福祉科	・(介護類型)介護福祉士国家試験100%合格(令和元年度100%、平成30年度100%) ・(こども福祉類型)保育検定3級4種目100%合格(令和2年度50.0%、令和元年度75.0%、平成30年度94.7%) ・(両類型)介護職員初任者研修100%(令和元年度97.4%、平成30年度100%)、福祉ヘルプメイト80%以上(令和2年度100%、令和元年度86.2%、平成30年度84.3%)の資格取得に取り組み、福祉関連企業に就職希望者の60%以上就職する。(令和2年度70.0%、令和元年度55.0%、平成30年度59.1%)

3 事業計画(事業名、事業概要)

【高等学校課事業】

学校連携チャレンジ・サポート事業(SPH)	全科	・鳥取大学地域価値創造研究教育機構との連携による課題研究、探究的な深い学びの取組。
社会人講師活用事業	全科	・各専門家を招聘し、講義、技術指導を実施。
キャリア発達支援事業 (介護職員初任者研修) 社会人講師活用事業	福祉科	・介護過程W3の基礎知識(介護過程の目的・意識・展開及びチームアプローチ)に係る講義、技術指導等を実施。
キャリア発達支援事業 (介護福祉士養成研修) 社会人講師活用事業	福祉科	・介護福祉士養成のための医療的ケア授業の実施、介護技術向上のための研修、介護実習報告会への指導助言、介護福祉士のキャリアアップにかかわる講演等を実施。

【独自事業】

土曜授業等実施事業	海洋科 食品・ビジネス科 福祉科	・中野港漁村市、まぐろ感謝祭、販売実習セミナー、地域の子どもや福祉にかかわるイベント等に参加。
地域とつながる教育	全科	・総合技術フェアによる最新の取組を地域へ発信し、地域との連携、地域への貢献を図る。

(様式1)

	<p>海洋科</p> <p>食品・ビジネス科</p> <p>機械科</p> <p>福祉科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー農林水産業士制度を活用し、沖合漁業体験、沿岸漁業体験、養殖漁業体験を実施。 ・HACCPを通しての安全・安心な食の追求や地元水産物を依り美味しく食べる方法、地元水産業及び販売戦略を学ぶ等の事業を実施。 ・マイコンカーや相撲ロボットの設計・製作を通してものづくり技術力の向上やものづくりを活かして地域を盛り上げる事業を実施。 ・福祉の学習を通して学んだことを地元に戻元し、様々な世代・立場の方々とのふれあい(なかよしフェスティバル・なかよしキャラバン隊キャラバン隊等)を通してコミュニケーション能力を育成する。
学校間連携	機械科	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉工学の研究推進。(特別支援学校児童・生徒のニーズに合致した作品を制作)
地域貢献と役立ち感の醸成	<p>食品・ビジネス科</p> <p>電気電子科</p> <p>福祉科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新巻鮭販売実習「シーサー」の実施。 ・公的施設の電気機器コンセントの点検や清掃、配線のチェックなどを実施。 ・地域行事への参加により自己肯定感を高め、地域貢献の意識の向上を図る。 ・学校周辺及び地域に出かけて、環境美化活動を実施し、地域に貢献し存在感及び信頼度を高め、役立ち感の醸成につなげる。
「介護福祉士」国家試験合格に向けた取組	福祉科	<ul style="list-style-type: none"> ・皆生養護学校での講義、児童生徒との交流をとおして介護福祉への理解を深める。 ・筆記試験対策学習の強化を図る。

※枚数任意